

令和 7 年 12 月 定例会 行政報告

1. 一般行政報告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 暴風雨への対応状況について
- 4) 作況状況について
- 5) 外国人財誘致推進事業について
- 6) 令和 7 年度建設工事の発注状況について

令和 7 年 12 月 8 日

中 標 津 町

貴重な時間をお借り致しまして、9月定例会以後の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、北方領土隣接地域 振興対策 根室管内市町 連絡協議会としての要請活動であります。

11月8日に、黄川田 内閣府特命担当大臣が北方領土視察のため隣接地域を訪問された際、根室市で開催されました関係団体との要望・懇談会におきまして、外交交渉を支える国民運動としての返還要求運動の推進、隣接地域における振興対策等の推進、北方四島との交流等事業の推進と拠点機能の整備、元居住者に対する援護支援などについて要請致しました。

なお、この要望・懇談会には議長の出席をいただいております。

12月1日には、「北方領土返還要求中央アピール行動」として、根室管内や全国の返還運動関係者、国会議員らと共に、東京都心部での街頭PR行進を行ったほか、高市 内閣総理大臣、黄川田 内閣府特命担当大臣、茂木 外務大臣、国光 外務副大臣を訪問し、国民世論の喚起高揚と、返還運動の推進を要請致しました。

なお、街頭PR行進、要請には、議長も出席いただいたところであります。

2) 次に、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会による要

望活動であります。

11月14日、国土交通省、財務省及び地元選出国会議員に対し、「北海道横断自動車道根室線の整備促進に関する要望」として、釧路・根室地域の生活、産業を守り、生産性・競争力の向上を図るために安全で安定した物流と人の流れを確保することが不可欠であることから、尾幌糸魚沢道路の整備促進、別保尾幌道路の早期着工を要望致しました。

3) 次に、北海道酪農振興町村長会議 及び 北海道公社営畜産事業推進協議会としての要請活動であります。

11月18日、農林水産省及び道内選出国会議員に対し、北海道の酪農・畜産においては、大規模化が進む一方で、担い手の減少や高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化や飼料等の高騰などにより、酪農の経営危機や経営意欲の減退を招く現状を訴え、「北海道における酪農畜産対策に関する要望」として、経営安定対策等の推進、生産基盤の維持と強化、担い手への支援強化等の推進などについて要望致しました。

4) 次に、北海道道路整備促進協会としての要請活動であります。

11月18日、財務省及び道内選出国会議員に対し、「高規格道路網等の整備」、「防災・減災・国土強靭化」を柱とした「北海道の道路整備に関する提案・要望」として、必要な道路整備や除排雪を含む維持管理を長期安定的に進めるため、資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映した予算確保を要請いたしました。

5) 次に、根室地方総合開発期成会としての要望活動であります。

根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言として、国道 272 号沿線では、矢臼別演習場における大規模演習の時期に、低速で走行する大型自衛隊車両と一般車両が混在することで、無理な追い越しによる車両事故が発生している状況を踏まえ、12月 2 日、国土交通省に対し、国道 272 号線の交通安全対策としての整備促進に関して、要望活動を実施しました。

2. 寄贈金品について

次に、2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、9月定例会後に、

現金で	3 件	9,988,000 円
物品で	3 件	
ふるさと納税で	7,427 件	123,573,700 円

の寄贈がございました。

また、企業版ふるさと納税制度として、11月末現在で4件、40万円の寄付金がございました。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝を申し上げます。

3. 暴風雨への対応状況について

3点目は、暴風雨への対応状況についてであります。

11月 1 日、前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北海道付近を通過した影響で、大気の状態が不安定になり、朝から風が強まるとと

もに降り始めた雨は、昼過ぎにかけて大雨となりました。

降り始めからの降水量は、中標津で 103.5 ミリ、中標津空港で 116 ミリ、上標津で 85.5 ミリを記録、いずれの観測地点も、日降水量が 11 月の観測史上 1 位の値となりました。

町の対応としましては、暴風警報、大雨警報の発表に伴い情報の収集に努めるとともに、パトロールにより道路等の状況把握に努めたところでございます。

被害状況につきましては、砂利道の路面崩壊、冠水により町道 3 区間で一時通行止めとしたほか、複数か所で倒木、路肩破損、路面洗掘、法面崩壊等が発生し、応急対応したところでございますが、一部、被害の大きく、復旧が急がれる箇所につきましては、被害の拡大防止と通行等の安全を図るため、11 月 19 日付で一般会計補正予算を専決処分させていただくとともに、その他の復旧工事費について、今定例会に補正予算を計上し、早期の復旧に向け取り組んで参りますので、特段のご理解を賜りますよう、お願いいたします。

4. 作況状況について

4 点目は、作況状況についてであります。

今年の気候を振り返りますと、5 月中旬以降は平均気温も高く、日照時間も長かったことから、作物全般において順調に生育が進みました。

しかし、9 月中旬に発生した強風により広範囲でデントコーンの倒伏が見られ今後の自給飼料の確保に懸念を抱いております。

それでは始めに、飼料作物の状況でございますが、牧草の 10 アールあたりの収量は、1 番草、2 番草ともに平年を上回っております。

サイレージ用トウモロコシについては、倒伏の影響により、飼料として最終的に活用できる量が減る見込みではありますが、栄養価は平年を上回っております。

次に、畑作物ですが、馬鈴薯の出荷量は減少したものの、販売価格は前年度を 1.7% 上回る結果となっております。

また、てん菜、大根、ブロッコリーにつきましても順調に生育し、収穫作業が進んだことから、出荷量は前年並み、又は前年を上回る結果となりました。

販売価格につきましても、全ての品種において前年を上回る状況となっております。

次に生乳生産についてであります。

中標津町管内の 4 月から 10 月末現在の累計では、前年同期と比較して約 5,700 トン、率にして 4.6% の増となっており、生産者、関係団体の努力により好調を維持しております。

全国的に酪農家の離農が増加傾向にある中で、北海道の生乳生産の占める割合は年々上昇傾向にあり、現在は 58% となっております。

今後、益々、北海道酪農への依存度が高まることが見込まれる状況にある中で、円安に伴う飼料価格の高止まりにより、依然として酪農経営は厳しい状況にあります。

これから本格的な冬場を迎える、暴風雪をはじめ、異常気象など、予断を許さない状況ですが、今後も適切な乳牛管理の下、計画数量達成を期待するところであります。

5. 外国人財誘致推進事業について

5点目は、外国人財誘致推進事業についてであります。

日本全国で人口減少が進む中、本町においても様々な業種で人手不足の状況が深刻化していることから、日本語学校の開校を契機に令和5年度に外国人財誘致推進事業を創設し、留学生をはじめとした多様な外国人材の呼び込みによる地域の活性化と国際化の推進に取り組んでおります。

当該事業におきましては、海外現地タウンセールスを実施しておりますが、今年度の第2弾として、10月4日から9日の日程でモンゴル国の首都ウランバートル市に赴き、トップセールスを行ってまいりました。

現地では、留学や就労などの人材を国外へ送り出す事業者や教育機関を対象に、「中標津町タウンプロモーション in モンゴル」と題し、町の様子や産業、同國の人材が実際に就労している事業者からの紹介や、本町の外国人材誘致の取組みについてのPRを行いました。

プロモーションには42団体52名の参加があり、本町への人材の送り出しに関する質疑を受けるなど、関心の高さを伺うことができました。

併せまして、プロモーションの前日には、在モンゴル日本国大使館や同国政府機関、人材の送り出しを行う教育機関などを訪問し、意見交換を行っています。

本プロモーションの開催を機に、外国人材の受入れの増加について、大きく期待しているところであります。

6. 令和7年度建設工事の発注状況について

次に、6点目の令和7年度建設工事の発注状況についてであります
が、令和7年11月26日現在でご報告申し上げます。

令和7年度の発注計画は、件数161件、金額にしまして、
35億9,489万円であります。

これに対し、発注状況ですが、件数で159件、率にしまして、99%、
金額では、35億9,272万円、率にしまして、99%の発注となっている
ところであります。

以上、6点についてご報告申し上げ、一般行政報告といたします。

令和7年12月定例会一般行政報告・寄贈金品に関する資料

(敬称 略)

月 日	寄 贈 者	寄 贈 の 目 的	寄 贈 金 品
R7.10.16	公益財団法人藤井財団 代表理事 藤井 勝典	小中学校と図書館へ 学びのコンテンツ充実のため	世のため人のためアニメシリーズ 12作品DVD他 8セット
R7.10.29	株式会社北洋銀行 取締役頭取 津山 博恒	まちづくり事業への活用のため ※SDGs(ふるさと応援)私募債発行による寄附 (ビルドプロテック株式会社)	現金 60,000 円
R7.10.29 ～R7.11.4	持続可能な開発目標(SDGs)を通じて 中標津町の発展に寄与する会(町内8企業) 代表 尾藤 哲夫	中標津農業高校の 教育活動推進のため	現金 9,100,000 円
R7.10.31	明治安田生命保険相互会社 釧路支店長 谷口 努	地域住民の健康増進のため	現金 828,000 円
R7.10.31	中標津町文化スポーツ振興財団 理事長 鳴海 和生	施設環境整備のため (中標津町温水プール)	公認プール用コースロープ 6 本
R7.11.18	公明党中央標津支部女性部(白ゆりグループ) 代表 稲田 かおり	高齢者入所施設での活用のため	清拭布 300 枚
【ふるさと応援寄附金】			
R7.8月	収納件数	875 件	13,840,200 円
R7.9月	収納件数	1,666 件	27,694,100 円
R7.10月	収納件数	4,886 件	82,039,400 円
【企業版ふるさと納税寄附金】			
R7.9.9	釧路市 (株)プラテック 代表取締役 阿部 操		100,000 円
R7.9.25	札幌市 (株)ドーコン 代表取締役社長 今 日出人		100,000 円
R7.11.20	札幌市 ビルドプロテック株式会社 代表取締役 佐藤 孝之		100,000 円
R7.11.27	大阪府大阪市 日本生命保険相互会社 代表取締役社長 社長執行役員 朝日 智司		100,000 円

令和7年 作況状況報告資料

牧草(中標津町農林課調べ)

	生草収量(kg/10a)		乾物率(%)		乾物収量(kg/10a)	
	1番草	2番草	1番草	2番草	1番草	2番草
R7年支所	2,589	1,475	19.6	19.4	507	282
支所平年値	2,570	1,395	18.5	20.4	474	284
平年比	100.7%	105.7%	105.9%	95.1%	107.0%	99.3%

サイレージ用トウモロコシ『露地』収量(中標津町農林課調べ)

	生総重 (kg/10a)	生総雌穂重 (kg/10a)	乾物率 (%)	乾物収量 (kg/10a)	TDN収量 (kg/10a)
R7年支所	5,797	1,666	27.3	1,572	1,145
支所平年値	5,255	1,498	26.2	1,369	963
平年比	110.3%	111.2%	104.2%	114.8%	118.9%

※TDN:可消化養分総量(可消化養分総量によって家畜への飼料給与量が設定されている)

農産物出荷状況『11月末現在見込み』(中標津町農業協同組合発表)

品名	作付面積 (ha)	出荷量	澱粉価 (%)	販売金額 (千円)
澱原 馬鈴薯	6年産	244.60	154,154俵	19.7
	7年産	250.68	151,719俵	19.7
	前年対比	102.5%	98.4%	100.0%
生食・加工 馬鈴薯	6年産	44.95	1,106t	77,494
	7年産	44.96	1,031t	70,000
	前年対比	100.0%	93.2%	90.3%
種子 馬鈴薯	6年産	60.89	1,102t	70,101
	7年産	55.73	1,010t	70,000
	前年対比	91.5%	91.7%	99.9%
馬鈴薯 合計	6年産	350.44		422,711
	7年産	351.37		430,039
	前年対比	100.3%		101.7%

品名	作付面積 (ha)	出荷量	平均反収 (t)	糖分 (%)	販売金額 (千円)
てん菜	6年産	95.71	4,927	5.15	15.7
	7年産	82.02	5,138	6.26	17.1
	前年対比	85.7%	104.3%	121.6%	108.9%

品名	作付面積 (ha)	出荷量	平均反収 (ケース)	秀品率 (%)	販売金額 (千円)	平均単価 (円)
大根	6年産	90.80	337,609	371.8	73.9	406,892
	7年産	90.05	380,131	422.1	80.5	433,166
	前年対比	99.2%	112.6%	113.5%	108.9%	106.5%

品名	作付面積 (ha)	出荷量	平均反収 (ケース)	秀品率 (%)	販売金額 (千円)
ブロッコリー	6年産	29.90	33,380	111.6	94.7
	7年産	30.60	32,801	107.2	99.6
	前年対比	102.3%	98.3%	96.1%	105.2%

品名	作付面積 (ha)	出荷量	平均反収 (ケース)	秀品率 (%)	販売金額 (千円)
その他野菜	6年産	0.06			350
	7年産	0.00			0
	前年対比	0.0%			0.0%

生乳生産状況 (JA別 令和7年4月～10月累計)

農協別	年度	出荷量(kg)
JA中標津	R5年度	85, 956, 038. 0
	R6年度	93, 443, 852. 0
	対前年比	108.7%
JA計根別	R5年度	37, 255, 084. 8
	R6年度	35, 486, 745. 3
	対前年比	95.3%
合 計	R5年度	123, 211, 122. 8
	R6年度	128, 930, 597. 3
	対前年比	104.6%